

教科等研究会（中学校特別活動部会） 平成30年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

互いのよさや可能性を發揮し、自主的・実践的に課題解決する特別活動
～社会参画、人間関係形成、自己実現のねらいを明確にした集団活動の創造を通して～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	場所	生徒会	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
6月	10名	益城中央	7月	益城中央	交流会	9月	広安西	小谷	10月	蘇陽	桂
14日		小学校	5日	小学校	打合せ	14日	小学校	由貴美	29日	中学校	めぐみ
								教諭			教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 主題設定の理由

これからの子どもたちには、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けていくことが重要となる。

これまででも、特別活動は、「なすことによって学ぶ」ことを方法原理とし、学級活動、児童会活動（生徒会活動）、クラブ活動、学校行事等のよりよい集団活動を通して、学校生活を送る上での基盤となる力や社会で生きて働く力を育ててきた。よりよい集団活動は、協働性や異質なものを認め合う土壌や、集団への所属感、連帯感を育み、それが学級文化、学校文化の醸成へとつながり、特色ある教育活動の展開を可能としてきた。

特別活動の目標に掲げられている「互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する」よりよい集団活動の創造過程は、特別活動で育成する重要な資質・能力である「社会参画力」、「人間関係形成力」、「自己実現力」を実践的に身に付けていくための重要な機会となる。

よりよい集団活動をめざして、話し合い活動で合意形成された目標や一人一人に役割分担のある協働活動は、互いのよさや可能性を集団の中で具体的に生かし、個性と集団を伸ばしていく集団活動に他ならない。よりよい集団活動を創造していく活動を通して、「社会参画力」、「人間関係形成力」、「自己実現力」が育成されているかという視点を明確にもって実践していくことが不可欠である。

② サブテーマ

ア 人間関係形成

人間関係を自主的、実践的によりよいものへと形成していくために、よりよい集団活動の中で、個人と個人あるいは個人と集団という関係性を築いていくことが必要である。年齢や性別といった属性、考え方や関心、意見の違い等を理解した上で認め合い、互いのよさを生かすような関係をつくることが大切である。

イ 社会参画

社会参画の意識は、よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し様々な問題を主体的に解決していくために、自発的、自治的な活動を行い、個人が集団へ関与する中で育まれる。学校は一つの小さな社会であると同時に、様々な集団から構成される。学校内の様々な集団における活動に関わることが、地域や社会に対する参画、持続可能な社会の担い手となっていくことにもつながっていく。

ウ 自己実現

現在及び将来の自己の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする集団活動を通して、自己のよさや可能性を集団の中で生かし、試していくことで、自己理解が進み、自己のよさを生かす力、自己の在り方生き方を考え設計する力などが育まれる。

(2) 成果と課題 (○：成果 ●：課題)

- 新学習指導要領の内容を踏まえて、今後の指導について小中合同で考えることができた。
- 授業研究について、事前研を実施して、研究授業、授業研究会を行ったため、授業者の意図を大切にしながら、協力して授業作りができたし、授業者、参観者双方にとって参考となった。
- 授業研の取組を通して、マンダラートやワールドカフェ、ブレインストーミング等、様々な活動の手法を学ぶことができた。
- 小中それぞれの授業を参観することができ、生徒の実態や各校種の実践等を知る機会となった。
- 新指導要領への移行を踏まえて、各校の実態を考慮しながら全体計画を見直していく必要がある。
- 生徒が、互いのよさや可能性を発揮しながら、主体的、実践的に課題を解決する力を身につけていくために、特別活動における取組を見直しながら実践していく必要がある。
- 特別活動において、設定された課題に対して生徒が取り組む際、どのように生徒の主体性を高めていくかを検討していく必要がある。

4 実践事例

(1) 授業の概要

生徒の実態	<p>本学級の生徒は、明るく活発で何事にも誠実に取り組もうとする生徒が多い。相手の気持ちを考えて行動する生徒や学級のみならず、学校をより良くするためにリーダーシップを発揮し、尽力する姿も見られる。一方で、人任せにしたり、相手に気を遣い過ぎたりして自ら行動することができない生徒もいる。</p> <p>現在、本学級の生徒は全員進学を希望している。夏休みの三者面談を経て、2学期に入り個々の目標に向かって学習に励む姿が多く見られるようになってきた。具体的に将来就きたい職業や夢に向かい、進路選択を行っている生徒もいるが何かしらの悩みや不安を抱えている生徒も少なくはない。また、悩みや不安に対する解決方法も分からない生徒や解決策が分かっているにもかかわらず実行に移せない生徒もいる。</p>
本時における研究の視点	<p>研究テーマとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他者と協力し合いながら課題の改善に向けて取り組むことができる。 【社会参画】 ○他者の多様な考えを理解し、協働して課題を解決することができる。 【人間関係形成】 ○自己実現に向け、進路選択における課題を発見し解決するために主体的な意思決定や行動ができ、自らのキャリア形成につなげる。 【自己実現】 <p>指導のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの進路について考え、実現に向けて前向きに取り組むことができる。 【集団活動や生活への関心・意欲・態度】 ○進路に向けての不安・悩みを解決する方法を考え、自分に合った解決策を考えることができる。 【集団や社会の一員としての思考・判断・実践】 ○進路についての不安・悩みが多数あることを知り、多様な対策があることを理解することができる。 【集団活動や生活についての知識・理解】
授業者自評	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が足りなかった。考えさせたいところに時間がなかった。 ・話し合い活動は普段あまりできていない。今日は初めての研究授業だったが、話し合い活動についてご意見やアドバイスをいただきたい。 ・悩みが多種多様で、もう少し絞ることができたのではないかと ・思いを伝えることを3年生で大切にしている。今日話し合ったことが進路選択や人格形成に少しでも役立つよと思う。
協議の内容	<p>【質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に悩みを出させる活動時に教師が投げかけた言葉は？ ⇒何でもいい、大小関係なく、不安なことや悩みを書こう。 ・事前に「悩みがない。」と答えていた生徒の変容について、本時の活動を通してどのような考えを持ったのか？ ⇒進路についての悩みを書くことができていた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に欠席した生徒に対する個別の指導は？ ⇒事前の活動では勉強面での悩みを書いていた。気になっている生徒は、休み時間に第1時を行い本時に臨ませた。 ・本時の目標について、達成の基準は？ ⇒最低4つは解決策を書けている。例：生活リズムを改善、友達や先生に相談、机の上に何もおらずに勉強、平日や休日の目標勉強時間 ・分類したグループにタイトルをつけさせた意図は？ ⇒分類をして即解決策にいければ、もっとシンプルにいった。 ・解決策を4つに設定した意図は？ ⇒時間の関係で4つにした。関連した内容を含めて計8つ書けるようにした。 <p>【協議】 [良かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的支援（流れを示す、ICT活用）ができていた。 ・付箋の利用で、話し合いが活発化していた。 ・学級集団の暖かい雰囲気がよかった。 ・学習活動の工夫がなされていた。 ・話し合いに全員が考えを持って発表し、共有できていた。聞く態度もよかった。 ・事前に悩みを出させていたので、時間短縮になった。 ・ワールドカフェ方式もよかった。 ・アンケート結果からの導入が効果的だった。 <p>[改善点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを事前に絞っておくと活動がさらにスムーズになった。 ・ペンの色の使い分けを指示しておくとうよかった。 ・解決策を考える活動に時間をもっととると良かった ・悩みの深さや個人差をどう調整するか検討する必要があった。 ・話し合いの進行について、班によって進め方にばらつきがあった。 ・悩みの優先順位や絞り込みがもっとあると深まった。 ・悩みの多様化で時間を要したので、悩みの絞り込みが必要。もっと短期的な視野（高校入学まで等）で考えさせてもよかったかもしれない。
<p>まとめ 益城中央小学校 岩下育男 校長先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中関わらず、話し合い活動を重視した授業づくりをしてほしい。 ・進路について、キャリア教育の視点も含めて各学校、各学年で系統的な指導をしてほしい。 ・指導要領の改定に伴い、各学校の全体計画を本年度中に見直しを。 ・蘇陽中の、マングラートや話し合い活動などの日頃の活動が出ていて素晴らしい授業だった。時間をかけるべき、授業の中心となる部分にもっと時間をかけられるとなお良い。具体的で深い内容も出ており、有意義な話し合いができていた。短期的・長期的で悩みは変わっていく。必要な知識やキャリアも時代とともに変わっていく。それに対応した知識や情報を提供していく必要がある。また、今回の取組は、人権教育の進路公開につながる。とても良い授業でした。お疲れ様でした。

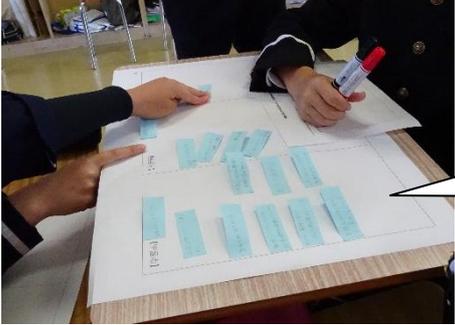
(2) 学習指導案

○本時のねらい

進路に関する悩みや不安を共有し、それらを解消するために自己にあった具体的な対策を考えることができる。

○本時の展開

過程	学習内容・活動 ○予想される生徒の反応	指導上の留意点	備考、準備物
導入 10分	<p>1 進路に関するアンケートの結果を再度、共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○悩みがある人が多いな。 ○自分と同じ悩みを持っているかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を提示することで、級友たちが進路に関する悩みや不安を持っていることに関心が持てるようにする。 	アンケート結果

展 開 35 分	2 本時の課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分だけでなく、誰もが同じような悩みを持つ受験生であることを確認する。 	
	<p>進路に関して、今抱えている悩みや不安を共有し、その解決策を見つけよう。</p>		
	<p>3 悩みを共有化し、解決策を考える。</p> <p>(1) 悩みを班で共有し、分類する。</p>  <p>悩みを分類し、グループで解決策を話し合う活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 班になり、付箋紙を分類しながら貼るように指示する。 悩みにタイトルをつける。 	付箋紙 短冊
	<p>(2) 悩みや不安を解決するために、何ができるのか班で話し合い、解決策を考える。</p> <p>(学習面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主学習や受験対策問題集を丁寧にやる。 ○メリハリをつけて勉強する。 <p>(生活面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレス発散のために運動する。 ○時間を決めてスマホ等を利用する。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友だちや先生に相談する。 ○先輩からの情報を収集する。 <p>(3) 班で出た意見をまとめる。</p>  <p>各グループで考えた解決策を班で発表する活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自が考える解決策について意見交換を行うことで自己の悩み解決にもつながるようにする。 級友との意見交換をしながら、具体的な対策を考えるようにする。 各班から出た主な悩みと良いアドバイスや解決策を記入するように指示する。 <ul style="list-style-type: none"> 各班で発表させる。 	画用紙 マジック
	<p>4 自分に合った解決策を決定し、ワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 班での意見交換した過程や他の班が考えた対策から、自分にできそうなものを選び、解決策を書かせる。 	ワークシート
	<p>【思考・判断・実践】(観察、ワークシート)</p> <p>進路に関する悩みや不安を理解し、班で解決策を考えたり、自分に合った解決策を決定したりすることができる。</p>		
ま と め 5 分	5 教師の話を聞き、本時の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 授業を通じた変容や今後の見通しについてしっかりと振り返ることができるようにする。 悩みや不安は誰にでもあり、それらと向き合い前向きな生活を送るきっかけとなるような声かけを行う。 	ワークシート